

株式会社大塚製薬工場と東京大学大学院数理科学研究科発ベンチャーMercury 社によるバイオ実験・AI ロボットの融合開発契約の締結について

東京大学大学院数理科学研究科発のベンチャー企業、株式会社 Mercury(本社:東京都港区、代表取締役社長 大田佳宏、以下「Mercury 社」)は、このたび、再生医療分野におけるバイオ実験と人工知能(AI)ロボットの融合開発に関する契約を株式会社大塚製薬工場と締結しましたのでお知らせ致します。

Mercury 社は、文部科学省と国立研究開発法人 日本医療研究開発機構、生命動態システム科学推進拠点事業を契機として 2016 年 10 月に生まれた東京大学大学院数理科学研究科発のベンチャー企業で、高度数学を用いた AI をロボットに実装し、医療製薬分野におけるバイオ実験の自動化と、より高精度かつ高速にビッグデータ解析を行うための研究開発を行っています。

東京大学大学院数理科学研究科(研究科長 河野俊丈)は、1992 年に大学内の複数の数学教室を合併し、独立大学院として設置されました。現在まで、東京大学で数学・数理科学の教育研究を担う組織として、多数の優れた人材を輩出し日本の数学界を牽引してきました。数学自身の発展だけでなく、産業界およびすべての分野と協力した横断的な数理科学研究および数理科学教育を促進することにも力を注いでいます。生命科学と数理科学の融合の一環として、バイオ実験・AI ロボットの融合開発を支援しています。

株式会社大塚製薬工場は、「臨床栄養領域における患者さんや医療従事者のベストパートナーを目指す」という経営ビジョンのもとで輸液を中心に高品質かつ安定的な製品供給を行いつつ、従来とは異なる新たな領域での研究開発にも積極的に取り組んでいます。再生医療領域では、バイオ人工膵島の研究や、細胞治療領域において広く使われる機能性の高い製品の研究を進めています。

これらの強みを生かした共同開発体制を構築して、人工知能(AI)ロボットの新しい応用技術の開発によって、革新的な創薬開発のスピードアップと自動化によるコストダウンを目指します。

以上

<参考資料>

【株式会社大塚製薬工場の概要】

会社名 : 株式会社大塚製薬工場
所在地 : 徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原 115

代表者 : 代表取締役社長 小笠原 信一
事業内容 : 臨床栄養製品を中心とした医薬品、医療機器、機能性食品等の製造、販売および輸出入
資本金 : 8,000 万円
設立 : 1969 年 10 月 7 日 (創立 1921 年 9 月 1 日)

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社 Mercury TEL : 03-5226-1083 E-mail : info@mercury-inc.tokyo

URL: <http://www.mercury-inc.tokyo/>